

「血液浄化によるオピオイド血中動態に関する研究」

【研究の目的】

人工透析は血液中の様々な薬剤の濃度に影響を与えます。この研究はがんの痛みに用いられることのあるオピオイド鎮痛薬に対する人工透析の影響、さらに透析前後の痛みの変化も調べます。

【研究の方法】

- 対象となる患者さん：がんの痛みに対してオピオイド鎮痛薬を使用されている慢性腎不全にて維持血液透析中の患者さん
- 利用するカルテ情報：年齢，性別，診断名，使用薬剤，透析条件，透析前後の血液検査結果，透析前後の痛みの変化

【利益相反】

研究をするために必要な資金を他者から提供してもらうことにより、その結果の判断にひずみが起こりかねない状態になることを利益相反状態といいます。本研究の実施に際しては特定の企業や団体からの資金援助は受けておりません。また、本臨床研究の利益相反関係は、帝京大学利益相反管理委員会の審査と承認を得ています。

【研究責任者】

帝京大学医学部緩和医療学講座 緩和ケア内科 担当医師 大澤岳史

【個人情報の取り扱い】

研究には、お名前、住所など患者さんの個人情報は含まれません。また、研究成果が学会や学術雑誌で発表される場合も、患者さんを特定できる個人情報は含まれません。
*上記の研究において、カルテ情報を利用することをご了承いただけない場合は、以下にご連絡ください。日常診療において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

【本研究に関する問い合わせ先】

東京都板橋区加賀 2-11-1

帝京大学医学部緩和医療学講座緩和ケア内科 担当医師 大澤岳史

FAX 03-3964-7094 メールアドレス kanwa@med.teikyo-u.ac.jp